

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-2-3 文化芸術の振興
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	文化国際課文化振興室長 早弓 太	電話番号	0852-22-6776
----------	------------------	------	--------------

事務事業の名称	文化を担う人材育成・顕彰・奨励事業		
目的	(1) 対象	文化芸術活動を行う県民	
	(2) 意図	より一層活動を活性化させるとともにそのレベルアップを図るため	
事業概要	本県における文化の向上に貢献が期待され、その活動を奨励するにふさわしいものに奨励賞を送り、これを顕彰する。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			式・定義	表彰件数	2.00	2.00	2.00	
式・定義	表彰件数	実績値	2.00	2.00	2.00	2.00		
		達成率		100.00	100.00	100.00		%
式・定義	表彰件数	実績値	0.00	15.00	3.00	11.00		
		達成率		0.00	0.00	157.20		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	6,440	221
うち一般財源(千円)	5,440	221

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	⑤H27新規
---------------------	--------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

2名以内でふさわしいものを毎年継続して表彰している。

--

6. 成果があったこと（改善されたこと）

文化「功劳」と「奨励」の違いを混同されがちなので、過去の推薦委員会における選考協議内容を参考に「推薦のポイント」を作成

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

活動レベルが高くなりつつあり、「奨励」面での意義が低く見られがちである。

②困っている状況が発生している「原因」

活動のレベルや長年継続して活動している場合は、人の目にもとまりやすく推薦されやすい。

③原因を解消するための「課題」

活動のレベルや長年継続して活動している場合は、人の目にもとまりやすく推薦されやすい。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

奨励面での意義を選考委員会や推薦依頼をかける際にも周知する。

--

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--